【注意事項】
RZ/A2M Evaluation Board Kit

R20TS0465JJ0100
Rev.1.00
2019.08.01 号

概要

RZ/A2M Evaluation Board Kit の使用上の注意事項を連絡します。

1. RZ/A2M Evaluation Board Kit を USB バスパワーで動作させる場合の注意事項

1. RZ/A2M Evaluation Board Kit を USB バスパワーで動作させる場合の注意事項

1.1 該当製品

製品名：RZ/A2M Evaluation Board Kit

製品型名：RTK7921053S00000BE#WS および RTK7921053S00000BE

シリアル No.：205783~205882、206675~206774 および 207837~207936

製品 Version（RTK7921053S00000BE のみ）：RZ/A2M、RZ/A2M V2、RZ/A2M V3 および RZ/A2M V4

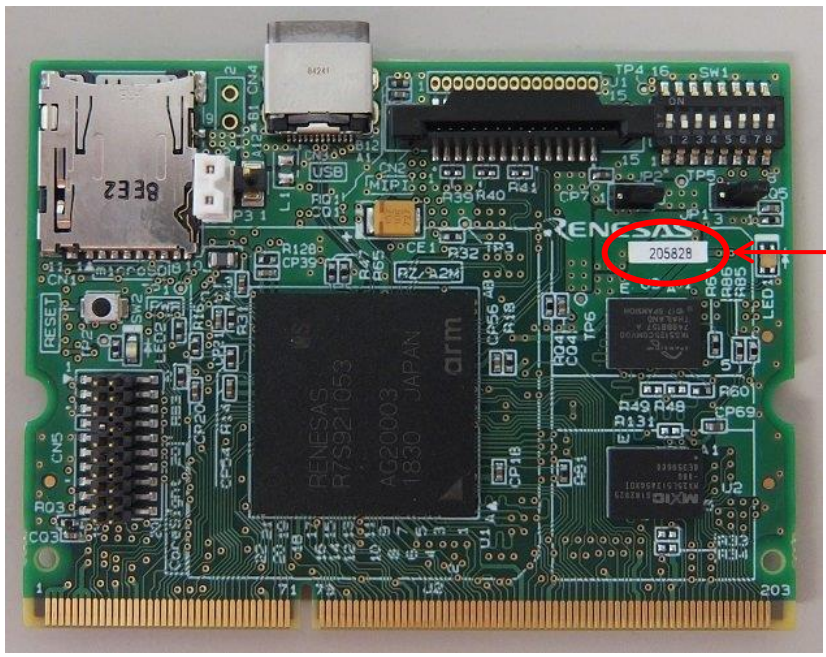

図 1　シリアル No 貼付位置（CPU ボード部品面）

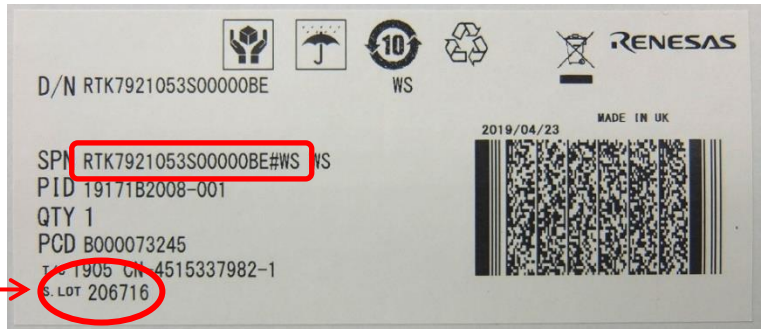

図 2　シリアル No 表示位置（RTK7921053S00000BE#WS 個装箱側面）

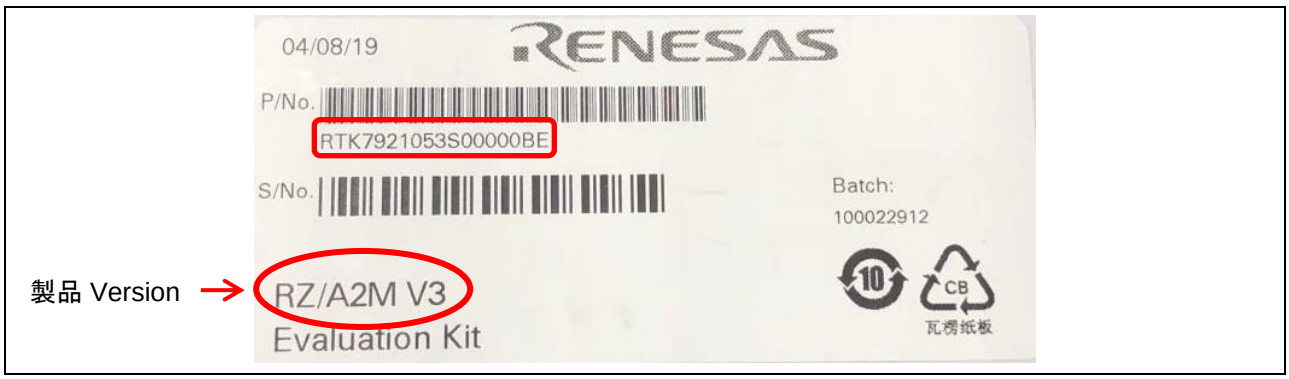

図 3　製品 Version 表示位置（RTK7921053S00000BE 個装箱側面）

1.2　内容

RZ/A2M Evaluation Board Kit を USB Mini-B コネクタ（RZ/A2M SUB ボード上の CN12）からの USB バスパワーで動作させる場合、Kit の電源スイッチが OFF の状態で給電すると RZ/A2M の VBUSIN 端子の絶対最大定格（－0.3V～PVcc＋0.3V＝－0.3V～＋0.3V）を超過し、LSI の永久破壊となる可能性があります。

1.3　回避策

セルフパワー動作に切り替えるか、Kit の電源スイッチを常時 ON の状態でご使用ください。

USB バスパワー動作で Kit の電源スイッチを OFF する場合は、USB ホスト機器からの給電を止めるか、USB ケーブルを抜いた後としてください。

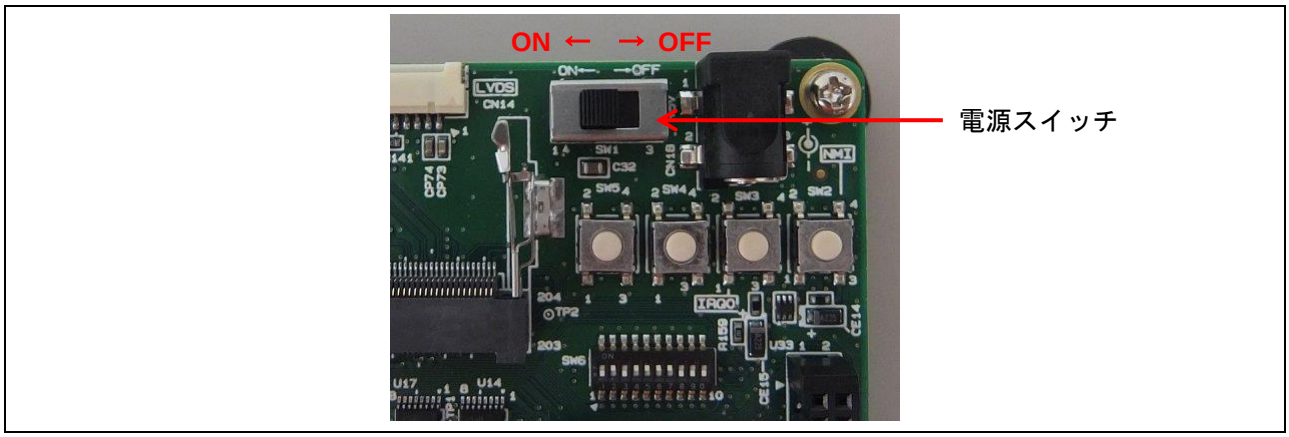

図 4　電源スイッチ位置および ON/OFF 方向（SUB ボード部品面）

1.4　解決策

回避策を実施してください。

なお、申し訳ありませんが、本件による返品・交換はお受け致しかねますこと、ご了承ください。

また、本 Kit の回路図を参考にボード設計されている場合は、電源 OFF 時に電圧印加が可能なバッファ等を挿入し、RZ/A2M の電源 OFF（PVcc＝0V）時に VBUSIN 端子へ電圧が印加されないよう回路変更をお願いします。

本 Kit は、次回製造分（2020 年 1Q 発売予定）よりこの対策を実施する予定です。

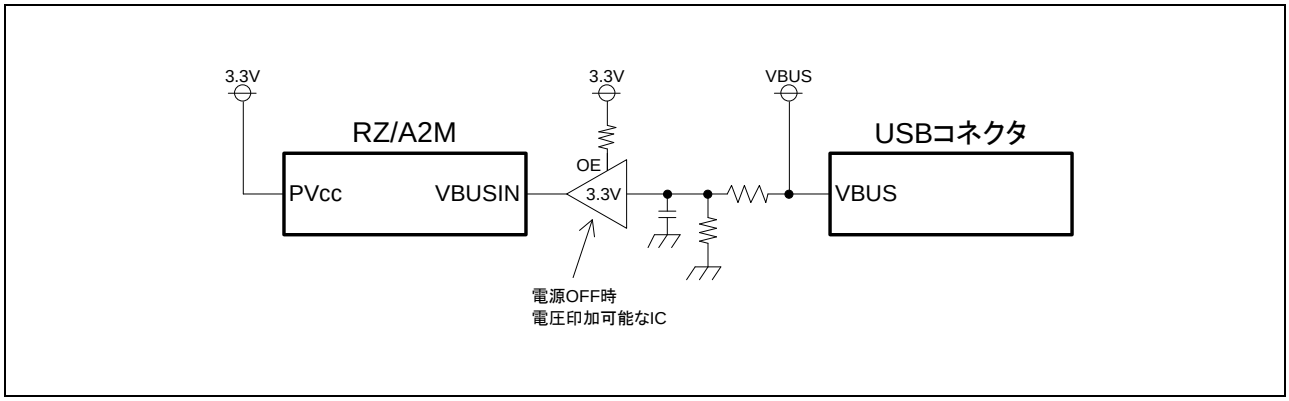

図 5　VBUSIN 回路例

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Aug.01.19	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したものですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フォレシア）

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

© 2019 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.

TS Colophon 4.0